

盛岡市遺跡の学び館

平成26年度 館報



町田遺跡 第19次調査 調査風景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

東日本大震災から早5年が経過しました。当市では、平成24年度から沿岸被災地への文化財調査に係る職員派遣を実施し、被災地の迅速な復興達成のため、継続して取組んできました。昨年度も宮古市と大船渡市の2市に職員派遣を行い、高台移転などに伴う緊急調査に従事するとともに報告書作成業務を受託し、積極的に支援してきました。

市内の調査事業におきましては、道明地区土地区画整理事業関連の細谷地遺跡、民間開発の盛岡城遠曲輪跡や個人住宅建築の宿田南遺跡及び赤裳遺跡など、本調査・試掘調査併せて19件の調査を実施しました。そのうち、赤裳遺跡からは平安時代後期の土器焼成遺構1基と遺構内部から坏・高台付坏・小皿など多量の土器が出土しており、近くに土器を大量消費する場所が存在したことを暗示しています。11世紀の土器焼成遺構が確認されたのは岩手県内では初めてで、今後の調査が期待されます。

学芸事業におきましては、開館10周年を記念し、これまで盛岡の発掘の歴史と国・県・市の指定文化財をはじめ、数多くの出土品を一堂に会した企画展「もりおか発掘物語」を開催しました。各時代の優品を通して盛岡の歴史や文化を一望する展観に、多くの市民の皆様に来館していただきました。

また、テーマ展では、これまで盛岡に暮らす人々との生活や文化を支えてきた「道」に焦点を当てた「もりおかの“みち”-人とモノの十字路-」を開催し、交通手段や文化交流としての道の機能や役割を遺跡や出土遺物、街道、一里塚から紹介し、好評を博しました。

関連事業では、史跡めぐりや体験学習など、多様な事業も実施してきましたが、市民の皆様のニーズに十分お応えできたか顧みながら、今後もより一層内容の充実に職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

盛岡市遺跡の学び館
館長 袖上 寛

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成26年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 III-4の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成26年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 III-5は、当館が平成25年に発掘調査を行い、平成26年度に資料整理を行った町田遺跡 第19次調査の発掘調査報告である。

発掘調査報告の記載についての例言は以下のとおりである。

- (1) 本文・挿図中での高さは標高値をそのまま使用している。
- (2) 遺構の平面位置は、平面直角座標X系（日本測地系座標）を座標変換した調査座標で表示した。
調査座標原点 RX ± 0 ← X -44,000,000m
 RY ± 0 ← Y +31,500,000m
- (3) 挿図中の土層図は、堆積の状況を重視し、線の太さを使い分けた。土層註記は、層理ごとに本文で記述し、個々の層位については割愛した。
なお、層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（2013 小山正忠・竹原秀雄 編）を参考にした。
- (4) 遺構記号は、堅穴建物跡：RA、土坑：RD、堅穴：RE、溝跡：RGとした。
- (5) 本書に使用した地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「盛岡」「日詰」「外山」「小岩井農場」及び「盛岡市広域都市計画図」（平成12年）を使用した。
- (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに	III 事業概要
例 言	1 管理運営・・・・・・・・・・・・・ 4
目 次	2 学芸事業・・・・・・・・・・・・・ 5
I 施設の概要	3 東日本大震災関連支援事業・・・・・・ 11
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業・・・ 2	4 埋蔵文化財発掘調査・・・・・・・・・・ 12
2 事業経過・・・・・・・・・・・・・ 2	5 町田遺跡 第19次調査・・・・・・ 18
3 建設事業費等・・・・・・・・・・・・・ 2	報告書抄録
4 施設概要・・・・・・・・・・・・・ 2	
II 職員体制・・・・・・・・・・・・・ 3	

I 施設の概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成27年3月末	開館以来の施設総利用者数132,918人

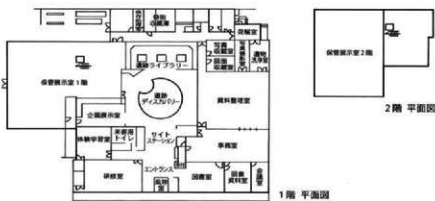
3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造平屋(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)、写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			



館内平面図及び外観・展示室写真

〔収蔵資料〕（平成26年度末現在）

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H25年度発掘調査分	・台太郎遺跡・大宮北遺跡・細谷地遺跡・新茶屋遺跡・里館遺跡・町田遺跡	小コンテナ48箱
	今までの調査資料 完形品等 (展示資料含む)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,400点
	破片等コンテナ取納資料	・プラスチックコンテナ取納(土器・石器破片、自然遺物含む) ※コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大 300箱 小15,781箱
寄贈寄託	個人コレクション	・奥健夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約4,200枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm、6×7、4×5) ・カラースライド(35mm、6×7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約130,000コマ 約44,000コマ 約420枚

II 職員体制

館 長(兼) 袖 上 寛
館長補佐(兼) 北 田 敦 子

〔管理・学芸班〕 (主査1 非常勤3)		〔調査班〕 (副主幹1 主査3 主任2 非常勤2)	
主査(兼)	田山 淳一	副主幹(兼)	菊地 幸裕
文化財調査員(非常勤)	木幡 里美	文化財主査(兼)	室野 秀文
学芸調査員(非常勤)	山岸 佳澄	文化財主査(兼)	津嶋 知弘
学芸調査員(非常勤)	山野 友海	文化財主査(兼)	神原 権一郎
		文化財主任(兼)	花井 正香
		文化財主任(兼)	千田 和文
		文化財調査員(非常勤)	鈴木 俊輝
		文化財調査員(非常勤)	樋下 理沙

III 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○第1回【期日】平成26年7月14日(月) 【時間】13:30～15:00 【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正委員長、菅野文夫・金野万里・紀 修・佐藤由紀男・瀬川君雄・藤村幸雄委員
事務局 鷹薮教育部長、当館職員

【議事】審議・平成26年度遺跡の学び館事業について
報告・平成26年度被災市町村への職員派遣等について

○第2回【期日】平成27年2月18日(水) 【時間】13:30～15:00 【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正委員長、金野万里・紀 修・佐藤由紀男・
瀬川君雄・藤村幸雄委員

事務局 鷹薮教育部長、歴史文化課及び当館職員

【議事】報告・平成26年度遺跡の学び館事業報告について
・平成26年度の国指定史跡の調査と整備状況について



【年間事業費】(平成26年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	14,588,790円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	4,348,729円 (うち国補助1,615千円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、取組資料データベース等
盛岡遺跡群発掘調査事業	4,201,123円 (うち国補助2,030千円、県補助450千円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	6,548,214円	・公共事業に伴う事前調査及び大船渡市受託業務
盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	11,105,000円 (まちづくり交付金4,250,000円、起債5,600,000円、市費1,255,000円)	・盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業 ・細谷地遺跡
埋蔵文化財確認調査事業	980,794円	・個人住宅建築及び宅地造成等、民間開発に係る試掘確認調査
計	41,772,650円	

【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～平成27年3月)

(単位:人)

	有料入館者						減免利用者			展示室利用者数	展示室以外の利用者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,907	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
計	23,555	17,903	41,458	5,216	7,745	12,961	54,419	21,242	8,161	29,403	83,822	49,096	132,918

2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展・企画展、平成26年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全7回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展 「もりおかの“みち”-人とモノの十字路-」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,919名
開催期間	平成26年5月31日(土)～平成26年9月28日(日)	展示資料数	128点
展示構成	[縄文時代] 交流を示す遺跡と遺物 [古代] 城柵造営と遺跡 [中世] 交通と道の遺跡 [近世] 城下の交通と街道・一里塚 [近世以降] 近代の水運		
概要	これまで盛岡に暮らす人々の生活や文化を支えてきた「道」に焦点を当て、奥大道・街道などの物理的な交通手段としての「道」のほか、古くから地域同士の文化交流を担った「道」の機能や役割に着目した。遺跡から「道」を見ることをテーマとし、人々の交流を示す遺跡や出土遺物、街道・一里塚を紹介した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	遺跡の学び館開館10周年特別展 「もりおか発掘物語」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,361名
開催期間	平成26年10月11日(土)～平成27年1月18日(日)	展示資料数	216点(複製3点含む)
展示構成	[第一部 盛岡の発掘調査の歴史] 戦前、戦後 [第二部 史跡指定と保存整備] 志波城跡(太田方八丁遺跡)の発掘と史跡整備、盛岡城の石垣修理と発掘調査 [第三部 発掘された盛岡] 昭和50年代以降の調査		
概要	遺跡の学び館は開館から10周年を迎えた。平成16年の開館以来、遺跡の発掘調査成果から盛岡の歴史や文化財を紹介する場として、これまでにさまざまな展示会や講座・講演会・体験学習会を開催してきた。今回、10年の節目として、これまでに市内で発掘された多様な埋蔵文化財を一堂に会する特別展「もりおか発掘物語」を企画し、盛岡の遺跡や貴重な出土品の紹介と、郷土の歴史や文化財に興味を持っていただく機会として開催した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第32回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する-平成26年度調査速報-」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,980名
開催期間	平成27年2月7日(土)～平成27年5月17日(日)	展示資料数	304点
展示遺跡	史跡盛岡城跡、赤鼻遺跡、宿田南遺跡、細谷地遺跡、盛岡城遠曲輪跡 (特別展示) 大船渡市長谷寺遺跡		
概要	平成26年度に市内で発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。併せて当市からの派遣職員が担当した大船渡市長谷寺遺跡の調査資料の一部を展示。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展 もりおかの“みち”



特別展 もりおか発掘物語



第32回埋蔵文化財調査資料展

【講演会】（企画展関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成26年12月7日(日) 13:30~15:30	遺跡の学び館 特別講演会「盛岡発掘物語」 盛岡市文化財保護審議会委員 嶋 千秋 氏	35名

【学芸講座】（企画展関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成26年6月22日(日) 13:30~15:00 6月25日(水) 16:00~17:00	学芸講座Ⅰ「震災復興と埋蔵文化財-大船渡市での埋蔵文化財調査-」 当館 神原 雄一郎 文化財主査	25名
平成26年8月24日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅱ「盛岡の交流史」 当館 山岸 佳澄 学芸調査員	30名
平成26年10月26日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅲ「古代末期から中世の検証 -中世の岩手郡中野郷と台太郎遺跡-」 当館 室野 秀文 文化財主査	27名
平成26年11月9日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅳ「盛南地区の古代集落」 当館 津嶋 知弘 文化財主査	45名

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成26年6月1日(日) 6月15日(日) 9:30~12:00	「やきもの教室」(制作と軸葉掛け 2回) 講師:松田昭夫氏 補助:当館職員・サポーターズクラブ	9名
平成26年6月29日(日) 9:30~12:00	「縄文土器をつくろう!」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	25名
平成26年7月13日(日) 9:30~13:00	「縄文野焼きひろば」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	延33名
平成26年9月21日(日) 10:00~15:30	「もりおか史跡・遺跡めぐり-志和稲荷街道-」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	21名
平成26年10月19日(日) 13:30~15:30	「考古学者になってみよう!遺跡発掘体験」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	33名
平成26年12月14日(日) 9:30~12:00	「つるを編んでみよう!」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	11名
平成27年2月15日(日) 9:30~12:00 13:30~16:00	「カゴ作り教室」 2回 対応:当館職員・サポーターズクラブ	39名



縄文土器をつくろう!



もりおか史跡・遺跡めぐり



カゴ作り教室

【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば	平成26年4月26日(土) ～5月6日(火) 10日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30 メニュー：勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ(有料)、火おこし・まなびのひろば(無料)	勾玉作り66名、土玉彩色73名、古代風ストラップ94名、火おこし367名、まなびのひろば10名 (のべ610名)
夏休み！ 古代体験ひろば	平成26年7月26日(土) ～8月10日(日) 13日間		勾玉作り140名、土玉彩色94名、古代風ストラップ221名、藍染め体験5名、ミニかご作り11名、火おこし690名、まなびのひろば53名 (のべ1,249名)
冬休み！ 古代体験ひろば	平成27年1月6日(土) ～1月12日(月) 7日間		勾玉作り52名、土玉彩色62名、古代風ストラップ82名、火おこし288名、まなびのひろば7名 (のべ491名)

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」(略称もりとびあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
夏休み☆もりとびあスタンプラリー	平成26年7月19日(土) ～8月31日(日)	施設PRとして、スタンプラリー台紙を小学生児童に配布。7会場中、4カ所の押印で記念品贈呈。	7施設全体のスタンプ押印者数 2,916名 記念品交換者数 310名
もりとびあねっとまつり2014 勾玉ネックレスづくり	平成26年11月29日(土) 13:00～16:00	イオン盛岡南SCを会場として、粘土に彩色して作った勾玉とビーズを組み合わせてネックレス作り。	参加100名
もりとびあねっとイベント 勾玉ネックレスづくりと盛南地区発掘調査パネル展	平成27年2月11日(水) 13:00～16:00	「もりとびあねっと」と館のPRの一環として勾玉とビーズを組み合わせてネックレス作り。(サポーターズクラブ支援)	参加112名



もりとびあねっとまつり2014



もりとびあねっとイベント
勾玉ネックレスづくり



サポーターズクラブ研修旅行

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して9年目を迎えた。本年度の会員数は13名で、当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」（個人の体験学習）をはじめ、史跡めぐり・やきもの教室・野焼きをはじめ各種の体験教室、館外の大規模SCでのもりとびあねつとPR活動なども含め、精力的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学を兼ねた研修旅行（研修先：一戸町御所野縄文博物館、旧朴館家住宅 期日：平成26年11月24日(月)）を企画し、8名が参加された。

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体(会場)	参加者
平成26年7月2日(水)	職場体験学習	秋田県鹿角市立八幡平中学校 (遺跡の学び館)	5名
平成26年7月26日(土) ・29日(火)	教員10年研修 (ボランティア研修)	盛岡市立城南小学校ほか (遺跡の学び館)	3名
平成26年8月24日(日) ～27日(水)	インターンシップ研修(3日間)	岩手県立大学(遺跡の学び館)	1名
平成26年8月19日(火) ～23日(土)	博物館実習(5日間)	岩手大学3名、東京学芸大学1名、 盛岡大学1名(遺跡の学び館)	5名
平成26年11月1日(土)	いわて高等教育コンソーシアム「平泉から知るいわて～いわての復興を考える～」後期	岩手県立大学、岩手大学、盛岡大学ほか(遺跡の学び館)	37名

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成26年4月26日(土)	太田分館歴史講座第1回 「～太田の石造物～」	千田 和文 文化財主任	盛岡市中央公民館 太田分館	13名
平成26年6月7日(土)	太田分館歴史講座第2回 「～志波城と坂上田村麻呂～」	今野 公顕 文化財主査	盛岡市中央公民館 太田分館	10名
平成26年6月28日(土)	太田分館歴史講座第3回 「～太田周辺の古代の遺跡～」	菊地 幸裕 副主幹	盛岡市中央公民館 太田分館	8名
平成26年9月27日(土)	太田分館歴史講座第4回 「～盛岡城と城下町～」	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市中央公民館 太田分館	9名
平成26年11月29日(土)	西部公民館古代史講座 「～安倍氏12橋の擬定地～」	室野 秀文 文化財主査	盛岡市西部公民館	108名



職場体験学習(鹿角市立八幡平中学校)



教員10年研修



博物館実習

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
平成26年10月23日(木) ～24日(金)	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	菊地 幸裕 副主幹	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(奈良県奈良市)
平成26年11月27日(木)	平成26年度事業周知・広報スキルアップ専門研修講座	木幡 里美 文化財調査員	岩手県立生涯学習推進センター
平成26年12月8日(月) ～12日(金)	平成26年度文化財担当専門研修「古文書歴史資料調査基礎課程」	山野 友海 学芸調査員	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成27年2月4日(水) ～6日(金)	平成26年度文化財等取扱い講習会「初級コース」	鈴木 俊輝 文化財調査員 樋下 理沙 文化財調査員	公益財団法人岩手県文化振興事業 岩手県立博物館

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成26年5月29日(木) ～31日(土)	平成26年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会・総会	北田 敦子 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(山梨県甲府市)
平成26年7月24日(木) ～25日(金)	平成26年度日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会総会・研修会及び岩手県博物館等連絡協議会総会	袖上 寛 館 長	日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会・岩手県博物館等連絡協議会(岩手県立水産科学館)
平成26年11月13日(木) ～14日(金)	平成26年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	北田 敦子 館長補佐	北上市立埋蔵文化財センター

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
平成26年5月10日(日) 10:00～11:00	宿南遺跡第11次発掘調査現地説明会(北夕瀬瀬町地内)	60名
平成26年10月18日(土) 13:30～14:30	細谷地遺跡第34次発掘調査現地説明会(向中野字細谷地地内)	35名
平成26年11月29日(土) 13:30～15:00	国史跡盛岡城跡第34次発掘調査見学会(内丸・盛岡城跡公園内)	60名
平成26年12月13日(土) 10:30～14:30	赤磯遺跡第3次発掘調査現地説明会(西青山1丁目地内)	6名
平成27年3月1日(日) 13:30～15:30	第32回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する～平成26年度調査速報～」関連事業「平成26年度調査成果報告会」	55名

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件 名	発 行 日	部 数	販売の有無
「里館遺跡第58次発掘調査報告書～宅地造成及び共同住宅建築に係る埋蔵文化財調査～」	発行 工藤 善藏 平成26年5月16日	200部	公的機関に 配布
「盛岡市内遺跡群～平成24・25年度発掘調査報告書 台太郎遺跡第78・79次、大宮北遺跡第17次発掘調査～」	平成26年9月30日	300部	
「新茶屋遺跡～盛岡中央消防署山岸出張所庁舎建設に伴う発掘調査報告書～」	発行 盛岡地区広域消防組合 平成26年10月30日	300部	

件 名	発 行 日	部 数	販売の有無
「盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅵ－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡 平成19～21年度発掘調査－」	平成27年3月20日	300部	公的機関に配布
「盛岡市遺跡の学び館 平成25年度館報」	平成27年3月31日	350部	

【展示会関連刊行物】

件 名	発 行 日	部 数	販売価格
【展示図録】 遺跡の学び館開館10周年特別展「もりおか発掘物語」	平成26年10月11日	200部	900円



埋蔵文化財発掘調査報告書



開館10周年記念特別展 展示図録

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

(冊)

形態	分 野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成25年度末	平成26年度増加分	
	発掘調査報告書		16,323	672	16,995
一般図書	考古学	概説書など	238	2	240
	歴史学	日本史・郷土史など	175	2	177
	民俗学	民具・民俗芸能など	10	3	13
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	31	1	32
	自然科学	動植物など	5	0	5
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	20	4	24
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その他	辞典・事典など	40	5	45
資料集	図録・解説書・パンフ・レジメなど	1,782	85	1,867	
全集	3冊以上	468	0	468	
論集	論文集など	52	1	53	
通史	市町村史	262	3	265	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	4,112	190	4,302	
計		23,521	968	24,489	

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター・博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍および展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 東日本大震災関連支援事業

【現地派遣及び現地指導による支援活動】

	所 属	派 遣 先	職務内容	人数	派遣期間（依頼）
職員派遣	遺跡の学び館	大船渡市 大船渡市教育委員会	被災者向け宅地造成等に係る発掘調査	1	平成26年4月1日～平成27年3月31日
	上田公民館	宮古市 宮古市教育委員会	高台移転等に係る発掘調査	1	平成26年4月1日～平成27年3月31日
現地指導	遺跡の学び館	野田村・久慈市 岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター	伏津館跡・宇部館跡発掘調査に係る現地指導	1	平成26年6月5日～平成26年6月6日
	遺跡の学び館	山田町 山田町教育委員会	長崎Ⅰ～Ⅲ遺跡発掘調査に係る現地指導	1	平成27年1月8日～平成27年1月9日
業務受託	遺跡の学び館	(遺跡の学び館) 大船渡市教育委員会	小出館遺跡発掘調査報告書作成業務の受託 ※平成25年度発掘調査分の報告書作成業務を当市で受託し、当館で実施した。	1	平成26年7月1日～平成27年3月31日

○東日本大震災に係る被災市町村への職員派遣については、平成23年3月11日以降、沿岸部の要望により継続的に実施してきたところであるが、平成26年度も岩手県市長会を通じ、派遣依頼の要請があり、当市は「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づき、沿岸8市町村に19名の職員を派遣し、文化財担当としては市教育委員会生涯学習課主管の上田公民館から宮古市教育委員会へ1名、歴史文化課主管の遺跡の学び館から大船渡市教育委員会へ1名（両名とも派遣期間は平成26年4月1日～平成27年3月31日）を派遣した。

○当館からの職員は、大船渡市内での被災者向け宅地造成等に係る発掘調査を担当し、赤崎地区の「長谷寺遺跡」の発掘調査や室内作業（図面整理・遺物整理）等の職務に従事した（職員派遣は平成27年度以降も継続の予定）。また、同市において平成25年度に派遣職員が発掘調査を行った「小出館遺跡」に係る資料整理等業務委託を受託し、出土資料整理及び報告書図版作成や報告文章の執筆等を行った。

さらに、当館で開催した第32回埋蔵文化財調査資料展で、特別展示として大船渡市教育委員会の協力により、派遣の職員が担当した遺跡の出土遺物・写真パネル等の公開も併せて実施した。



長谷寺遺跡発掘調査



長谷寺遺跡 貯蔵穴群



長谷寺遺跡 遺物出土状況

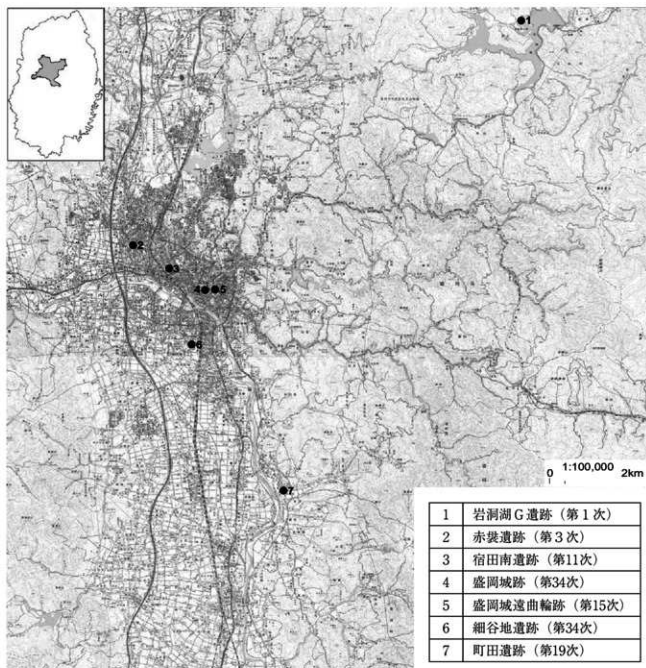


第32回埋蔵文化財調査資料展 特別展示 大船渡市・長谷寺遺跡出土遺物

4 埋蔵文化財発掘調査

平成26年度に当館は、本発掘調査5件、試掘調査14件、合計19件の調査を行った。原因別の内訳は、史跡整備に伴う事前調査が1件、大規模区画整理事業に係る本調査が1件、市道改良等の公共事業に係る試掘調査が3件、民間開発関連では、共同住宅・貸家建築に係る本調査1件・試掘1件、介護施設等の建築に係る試掘調査が3件、宅地造成に係る試掘調査が3件、個人専用住宅建築に係る本調査2件・試掘調査4件となる。調査総面積は11,252㎡で、前年度比89.0%となっている。調査地の地域的分布は、零石川南岸の太田・向中野地区が3地点、旧市街地区が2地点、野川地区が6地点、上田地区が1地点、中津川地区が1地点、築川地区が1地点、飯岡地区が3地点、玉山区が2地点となっている。

本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。なお、次節の町田遺跡第19次調査は、本書をもって正式報告とする。



平成26年度調査遺跡 位置図

【平成26年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	34	内丸57-1地内	石垣解体修理の事前調査	10月1日～12月22日	244	三ノ丸北西石垣渠石・盛土層、三ノ丸北西下斜面石垣
	2	宿田南遺跡	11	北夕顔瀬町26-21	個人住宅建築	4月16日～5月28日	124	室町～戦国時代の竪穴建物跡2棟、掘立柱建物跡1棟、土坑5基、溝跡1条、通路跡 奈良・平安時代の土師器片5点、室町～戦国時代の銀銭1点
	3	細谷地遺跡	34	向中野字細谷地7-2外	土地区画整理事業	5月7日～12月25日	8,094	縄文時代の陥し穴状土坑7基、奈良・平安時代の竪穴建物跡10棟、時期不詳の土坑7基、溝跡4条、竪穴状遺構1基 奈良・平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約11箱
	4	盛岡城遠曲輪跡	15	神明町1-1	共同住宅建築・駐車場造成	7月17日～8月30日	580	平安時代の竪穴建物跡1棟、近世の土器1条、堀跡1条、土坑5基、暗渠・排水溝2条 平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器、近世陶磁器類 コンテナ約3箱
	5	赤鼻遺跡	3	西青山一丁目21、16-2	個人住宅建築	11月4日～12月25日	578	縄文時代の陥し穴状土坑2基、平安時代後期の掘立柱建物跡2棟、土取穴状土坑1基、土器焼成遺構1基、平安～江戸時代の土坑7基、溝跡3条 縄文土器片6点、平安時代後期の土器 コンテナ約4箱
試 掘 調 査	6	門遺跡	2	門字真立116-1、117-1、108-1	保育施設建設	4月8日	240	遺構・遺物 なし
	7	上堤頭遺跡	3	上田堤一丁目153	宅地造成	4月15日～17日	283	遺構 なし 遺物 平安時代の土師器片1点、近世の陶磁器片11点
	8	西鹿渡遺跡	29	三本柳2地割22-4外	宅地造成	4月30日	154	遺構・遺物 なし
	9	赤鼻遺跡	2	西青山一丁目23	個人住宅建築	5月13日～15日	207	遺構・遺物 なし
	10	宿田遺跡	13	前九年二丁目104-14	個人住宅建築	6月11日	27	遺構・遺物 なし
	11	見前古館遺跡	10	西見前15地割10-3	個人住宅建築	6月12日	25	遺構・遺物 なし
	12	稲荷町遺跡	31	大館町236-1、239-1	介護施設建設	7月15日	248	遺構・遺物 なし
	13	稲田遺跡	2	土器字幅2-3	学校校舎増築	8月25日	74	遺構 なし 遺物 縄文土器片5点
	14	中島遺跡	1	三本柳8地割72-2、76	宅地造成	8月26日	150	遺構・遺物 なし
	15	台太郎遺跡	81	向中野二丁目3-8	貸家建築	10月8日	63	遺構・遺物 なし
	16	志波城跡	111	下太田字宮田2、113、20-4	進入路設置	10月31日	37	遺構 なし 遺物 土師器片9点

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
試掘調査	17	岩洞湖H遺跡	1	玉山区敷川字亀橋106地内	市道改良	11月17日	18	遺構・遺物 なし
	18	岩洞湖G遺跡	1	玉山区敷川字亀橋43地内	市道改良	11月18日～19日	28	縄文時代の竪穴建物跡1棟、土坑6基、平安時代の竪穴建物跡1棟 縄文土器1点
	19	屠牛場遺跡	3	山岸三丁目18-3	個人住宅建築	12月24日	78	遺構・遺物 なし
					総面積	11,252		

○史跡整備に伴う事前調査

(1) 国指定史跡盛岡城跡 第34次調査

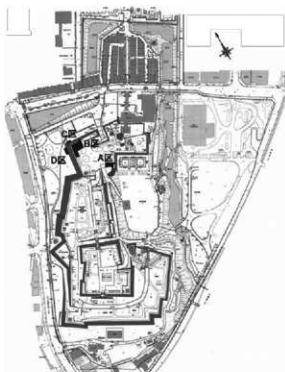
- 調査地 盛岡市内丸57-1地内
- 調査原因 三ノ丸石垣解体修復に伴う事前調査
- 調査方法 トレンチによる内容確認調査
- 調査期間 平成26年10月1日～12月22日
- 調査面積 243.8㎡
- 調査員 佐々木 亮二（事務局歴史文化課）
- 検出遺構 A区：石垣天端石・栗石・盛土層、B区：石垣天端石・栗石・盛土層、C区：石垣根石・根石据方、北西斜面部石垣・栗石、D区：石垣根石
- 出土遺物 藩政期の軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦・平瓦片
- 調査概要 史跡盛岡城跡は、市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸、二ノ丸、三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪（御城内）を要とし、その外側に外曲輪、遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から400年以上経過し、石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ、一部では崩落の危険性もあげられる。

当市では、平成24年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修復工事を計画しており、これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第34次調査は、三ノ丸北西部及び南東部の4地点（A～D区）を対象とし、石垣上部の栗石及び盛土層、石垣下部の根石の深さや根固めの状況等を確認した。

このうち、C区の三ノ丸北西下斜面部においては、新たな石垣の存在が確認された。『明和三年書上盛岡城絵図』（1766年）などに描写されている石垣の一部と推測されるもので、明治以後に石垣上部が解体され、残存部が埋没したものと想定される。



三ノ丸北西下斜面部石垣



第34次調査区位置図

○公共事業関連

(1) 細谷地遺跡 第34次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野字細谷地7-2 外 | 2 調査原因 | 道明地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成26年5月7日～12月25日 |
| 5 調査面積 | 8,094㎡ | 6 調査員 | 菊地 幸裕・鈴木 俊輝・樋下 理沙 |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑7基、奈良・平安時代の竪穴建物跡10棟、時期不詳の土坑7基、溝跡4条、竪穴状遺構1基
- 8 出土遺物 縄文土器、弥生土器、奈良時代の土師器（坏・甕）、平安時代の土師器（坏・甕）・須恵器（坏・甕）・あかやき土器（坏・甕） コンテナ約11箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁辺部に立地している。これまでの調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が230棟以上確認された大規模集落跡である。

今次調査は、昨年度調査区に隣接する遺跡南東部を対象とし、奈良・平安時代の竪穴建物跡等の遺構と、土師器・須恵器等の遺物を検出した。また、縄文時代の陥し穴状土坑も検出されている。



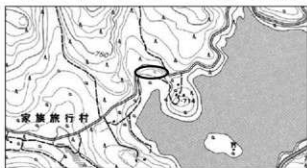
第34次調査区 位置図



第34次調査区北半部 全景

(2) 岩洞湖G遺跡 第1次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市玉山区藪川字亀橋43地内 | 2 調査原因 | 市道一ノ渡岩洞湖湖線改良工事 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成26年11月18・19日 |
| 5 調査面積 | 28㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 |
- 7 検出遺構 縄文時代の竪穴建物跡1棟、土坑6基、平安時代の竪穴建物跡1棟
- 8 出土遺物 縄文土器片1点
- 9 調査概要 盛岡市北東部に位置する岩洞湖の湖畔には、旧石器時代後期に帰属する大橋遺跡をはじめ、数十箇所の遺跡が点在している。本遺跡もその一つで、岩洞湖北岸の西向き緩斜面上に立地している。本調査では、現市道に沿って9箇所のトレンチを設定し、竪穴建物跡及び土坑を検出した。立地地形に鑑みれば、周辺においても遺構の分布が想定されるものである。（平成27年度以降 本調査予定）



第1次調査区 位置図



第1次調査 調査状況

○民間開発関連

もりおかじょうとわくあらいあそ

(1) 盛岡城遠曲輪跡 第15次調査

- | | | | |
|--------|------------------------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市神明町1-1 | 2 調査原因 | 共同住宅建築及び駐車場造成 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査
(駐車場部分は掘削制限) | 4 調査期間 | 平成26年7月17日～8月30日 |
| 5 調査面積 | 580㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡1棟、土坑3基、溝跡4条、柱穴状ピット15口、戦国時代末～近世の土塁1条、堀跡1条、土坑5基、暗渠排水溝1条、排水溝1条
- 8 出土遺物 平安時代の土師器(坏・高台付坏・甕)・須恵器(坏・甕・長頸瓶)・あかやき土器(坏・高台付坏・甕)、16世紀～19世紀の陶磁器類(瀬戸・美濃、信楽、肥前、備前、京、相馬、中国産等)、鉄製品(釘、鉄滓等)、木製品(皿、箸等)、銭貨等 コンテナ約3箱
- 9 調査概要 盛岡城遠曲輪は、盛岡城を外周する外堀で囲まれた区域で、現在の本町通、中央通一丁目、神明町、肴町、南大通二丁目辺りに及ぶ。今次調査区は、その東辺中央部に位置し、本山修験宗の感徳山神通寺三明院の跡地にあたる。

調査の結果、16世紀末頃を上限とする構築時期が想定される土塁・堀、排水施設が確認された。遠曲輪の土塁の規模や構築方法が窺える資料となっている。なお、本調査については、別途正式報告済〔盛岡城遠曲輪跡 第15次発掘調査報告書〕平成27年3月〕である。



第15次調査区 位置図



第15次調査区北半部 全景

○個人住宅建築関連

あらいあそ

(1) 赤裳遺跡 第3次調査

- | | | | |
|--------|------------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市西青山一丁目21、16-2 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域北東部分の本調査 | 4 調査期間 | 平成26年11月4日～12月25日 |
| 5 調査面積 | 578㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑2基、平安時代後期の掘立柱建物跡2棟、土取穴状土坑1基、土器焼成遺構1基、平安時代～江戸時代の土坑7基、溝跡3条、柱穴状ピット103口
- 8 出土遺物 縄文土器片6点、平安時代後期の坏・高台付坏・小皿 コンテナ4箱、鉄鏝1点、近世陶磁器5点
- 9 調査概要 本遺跡は、盛岡市北西部から滝沢市にかけて広がる滝沢台地の南西側の緩斜面上に立地している。今次調査の結果、平安時代後期の掘立柱建物跡、土取穴状土坑、土器焼成遺構等が確認された。土器焼成遺構は、径約2mの土坑で、埋土中には焼土や灰が多量に認められた。出土土器は、坏、

高台付坏，小皿を主体とし，ほとんどが破片状態であった。出土土器等から11世紀の帰属が想定されるが，該期の土器焼成遺構は，本例が県内では初見となる。本調査結果は，周辺地における官衙・館・櫓等の大量消費地の存在を示唆する知見といえる。



第3次調査区 位置図



第3次調査 土器焼成遺構

(2) 宿田南遺跡 第11次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市北夕顔瀬町26-21 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成26年4月16日～5月28日 |
| 5 調査面積 | 124㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 |
| 7 検出遺構 | 室町時代～戦国時代の堅穴建物跡2棟，掘立柱建物跡1棟，土坑5基，溝跡1条，通路跡2箇所 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良・平安時代の土器器片5点，室町時代～戦国時代の銅銭（永楽通寶）1点，鉄製品1点 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は，北上川と雫石川に挟まれた段丘上に立地している。この段丘は，本来は盛岡市北西部から滝沢市にかけて広がる滝沢台地の南端部であったものが，河道の侵食寸断によって残丘状になったものと推測される。 | | |

今次調査区は，昭和61年度に実施した第1次調査区の南東に隣接しており，室町時代から戦国時代の堅穴建物跡，掘立柱建物跡等が確認された。堅穴建物跡は，中世の城館・屋敷跡等で類繁に認められる形態で，工房又は兵舎等の使用が想起される。当該地周辺が，城館又は屋敷の一部であった可能性を示唆するものである。



第11次調査区 位置図



第11次調査区 全景

5 町田遺跡 第19次調査

1 遺跡の位置と立地

町田遺跡は盛岡市中心部より南に約15kmの乙部地内に所在し、北上川の東岸に形成される南北約900mの河岸段丘上に立地している。西側は北上川の氾濫原によって画され、北側は乙部川、東側は乙部川によって開析された低湿地、南側は乙部川から分流する大地田川によって画されている。周辺には乙部川を挟んだ北側に乙部館遺跡、東側に乙部野遺跡・松長根遺跡、南側には乙部川の支流を挟んで乙部方八丁遺跡があり、これら5遺跡を「乙部遺跡群」と総称している。

2 これまでの調査

町田遺跡では住宅の建築などに伴い平成6年の第1次調査以降、18次にわたって調査が行われており、これまでに平安時代の竪穴建物跡や土坑、溝跡などのほか、縄文時代の遺物包含層も確認されている。

3 第19次調査の概要

調査地	盛岡市乙部第30地割51-1	調査原因	個人住宅建築	調査面積	66㎡
調査期間	平成25年4月9日～4月24日	調査員	花井 正香・鈴木 俊輝		
検出遺構	平安時代の竪穴建物跡2棟、竪穴跡1棟				
出土遺物	平安時代の土師器 坏、須恵器 壺、あかやき土器 坏・小型甕、刀子、土製品など				

(1) 平安時代の遺構・遺物

RA117 竪穴建物跡 (第3図)

位置	調査区南東側	平面形	長方形	主軸方向	S3°W	重複関係	なし
検出面	表土層直下黒色～黒褐色土層上面						
掘込面	削平						
埋土	自然堆積でAからC層に大別され、A層はさらに2層に細分される。各層とも小ぶり～大ぶりの礫を含む。A層～黒褐色土を主体とし、粒～小塊状の暗褐色土とカーボン粒及び焼土粒を含む。A ₂ 層の方が暗褐色土、カーボン粒及び焼土粒の割合がやや多い。B層～暗褐色土を主体とし、粉～粒状のにぶい黄褐色シルトを含み、カーボン粒及び焼土粒～塊を多量に含む。C層～黒褐色土を主体とし、粉～小塊状の暗褐色土を少量含む。						
壁の状態	検出面から床面までの深さは0.05～0.11mで、外傾して立ち上がる。						
床の状態	床面は黒色土に礫を多く含むため構築土ではなく貼床(L層)で、L層はにぶい黄褐色シルトに塊状の暗褐色土及び粒～小塊状の褐色シルトを少量含む、層厚は0.02～0.04mである。						
カマド	南壁やや東に位置しており、火床面のみ残存し崩壊土(J層)が認められる。煙道は溝状で幅は調査区壁際で0.30m、底面は建物床面とはほぼ同レベルであるが、大半が調査区外である。火床面は径0.49m～0.56mの円形で、熱の浸透は厚さ0.14mで暗赤褐色～明赤褐色を呈する。カマド崩壊土(J ₁ ・J ₂ 層)は、粒～小塊状の暗褐色土を少量含む黒褐色～暗赤褐色土で、カーボン粒少量、焼土粒～小塊を多量に含む、あかやき土器や土師器片が出土している。						
貯蔵穴	カマド東側に構築される。形は不整楕円形で、規模は径0.64m～0.72m、床面からの深さ0.24mである。埋土はD・E層に大別され、D層はさらに2層に細分される。D層は粉～粒状のにぶい黄褐色～褐色シルトを含む黒色土で、D ₁ 層は焼土粒を少量含む硬く締まる。E層は粒～小						

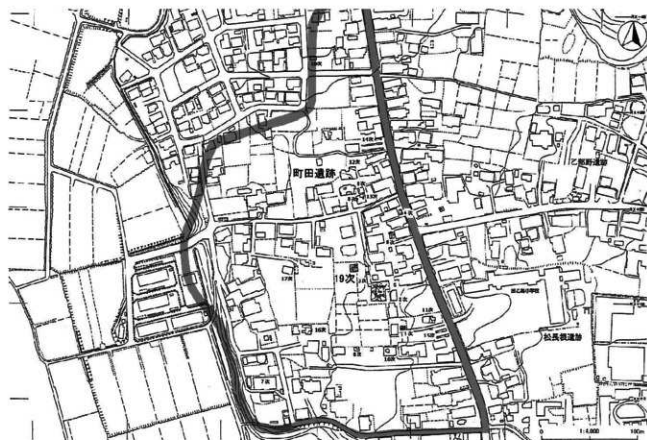
塊状の黒色土を含むにぶい黄褐色シルトで、小ぶりの礫を多量に含む。

柱 穴 床面上に主柱穴P1～P4を検出している。柱痕跡は認められず、F層は粉～粒状の暗褐色土を含む黒色～黒褐色土で、G層は粒～小塊状のにぶい黄褐色シルトを含む暗褐色土である。各ピットの規模・深さは、P1-径0.22～0.24m、深さ0.05m、P2-径0.20～0.23m、深さ0.18m、P3-径0.24～0.25m、深さ0.15m、P4-径0.45～0.52m、深さ0.37mである。

出土遺物 (第5図1～10) 1・2はあかやき土器環で、いずれも底部は回転糸切無調整である。ともに内外面に煤状炭化物が付着している。3は土師器環で内面は黒色処理され、底部は回転糸切無調整である。4はあかやき土器小型甕で、底部にヘラケズリを施し、内外面には煤状炭化物が付着している。5は須恵器壺で外面はヘラケズリが施され、自然釉、煤状炭化物が付着している。6は土玉、7・8は刀子、9は鉄鏝である。10は縄文時代後期末葉の深鉢である。

RA118 竪穴建物跡 (第4図)

位 置	調査区北東側	平面形	方形 (調査区外)	主軸方向	-
規 模	西-東3.44m 南-北2.52m以上 (調査区外)	掘 込 面	重複関係	RE103 (新)	
検 出 面	表土層直下黒色～黒褐色土層上面	削 平	カマド	不明	
埋 土	自然堆積でA～E層に大別され、A層はさらに2層に細分される。各層ともやや小ぶりの礫を含み硬く締まる。A層-粒～小塊状の暗褐色土と焼土粒を含む黒褐色土。A ₂ 層はカーボン粒を少量含む、遺物量はA ₁ 層より少ない。B層-粒～塊状の黒褐色土を少量含む暗褐色土で、焼土粒～小塊を多量に含む。C層-小塊状の暗褐色土を少量含む黒色土。D層-黒色土と黒褐色土の混合土を主体とし、部分的に微量の十和田a火山灰を含む。E層-黒色土を少量含む黒色土。				



第1図 町田遺跡 全体図

壁の状態	検出面から床面までの深さは0.28～0.40mで外傾して立ち上がる。
床の状態	床面はほぼ平坦で構築土は認められない。
柱 穴	床面上に2口検出している。柱痕跡は認められず、F層は粒～塊状の黒褐色～暗褐色土を含む黒褐色土で、G層は粉～小塊状の暗褐色～褐色シルトを含む黒色土である。各ピットの規模・深さは、P1-径0.24～0.26m、深さ0.19m、P2-径0.45～0.57m、深さ0.17mである。
出土遺物	須恵器及びあかやき土器の坏や甕、須恵器の壺、土師器の坏の破片などが多く出土している。

RE103 竪穴跡（第4図）

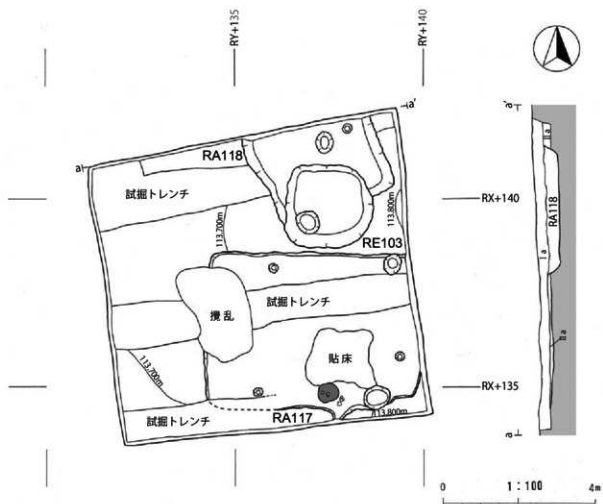
位置	調査区北東側	平面形	不整形	規模	西-東2.22m 南-北2.33m
重複関係	RA118（古）	検出面	表土層直下	黒色～黒褐色土層	掘込面 削平
埋 土	自然堆積でA～E層に大別され、A・C層はさらに2層に細分される。各層とも小ぶり～大ぶりの礫を含み硬く締まる。A層-粒～塊状の暗褐色土を含む黒褐色土で焼土粒を少量含む。A ₂ 層は暗褐色土を多く含む、焼土粒～小塊を含む割合はA ₁ 層よりも多い。B層-粒～塊状の黒褐色土を少量含む黒色土で、カーボン粒と微量の焼土粒を含む。C層-粒～小塊状のいぶい黄褐色～褐色シルトを含む黒褐色土で、C ₁ 層はいぶい黄褐色シルトを含む割合が多い。D層-黒褐色土と塊状の暗褐色土の混合土で、粉状のいぶい黄褐色シルトを少量含む。E層-粒状の暗褐色土を微量に含む黒色土で、少量の砂を含む。				
壁の状態	検出面から床面までの深さは0.66～0.70mで外傾して立ち上がる。				
床の状態	床面はほぼ平坦で構築土は認められない。				
柱 穴	床面にピットを1口検出している。柱痕跡は認められず、埋土は粒～小塊状のいぶい黄褐色～褐色土を少量含む黒褐色土で、大量の小礫を含む。規模は径0.54～0.67m、深さ0.8mである。				
遺 物	あかやき土器の坏や須恵器坏・甕・壺片、土師器坏片などが出土している。				

(2) 遺物包含層

これまでの調査では縄文時代の遺物包含層が確認されている。今回の調査でも縄文時代の遺物包含層（Ⅱa層）が調査区全体にわたって確認された。Ⅱa層は礫を多く含む黒色～黒褐色土で、縄文時代中期の土器の小破片や、Ⅱa層上面からは平安時代の土鍬や刀子（第5図）、あかやき土器片や須恵器片なども出土している。

4 総括

今回の調査で確認された遺構は平安時代の竪穴建物跡2棟、竪穴跡1棟である。RA117・118竪穴建物跡については出土遺物やその構成、埋土の状態などから9世紀後葉、RE103竪穴跡についても9世紀代のものと考えられる。また、RA117竪穴建物跡からは数点の金属器や鉄滓が出土していることから、鉄の小鍛冶などを行う作業場だったのではないかと考えられる。



第2図 町田遺跡 第19次調査 調査区全体図



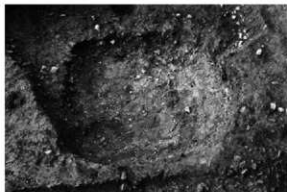
第19次調査区全景 (南から)



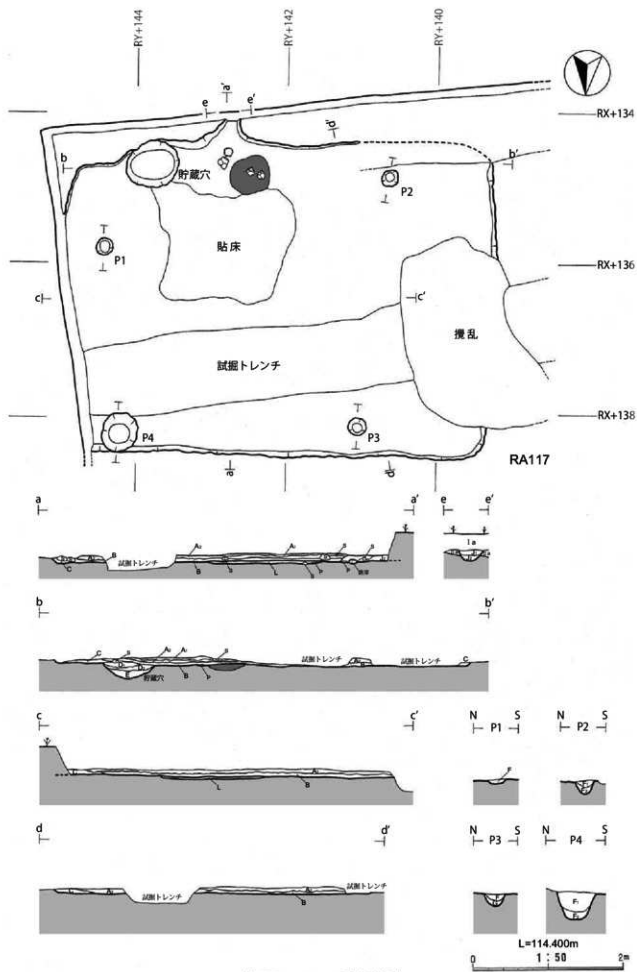
RA117竪穴建物跡全景 (北から)



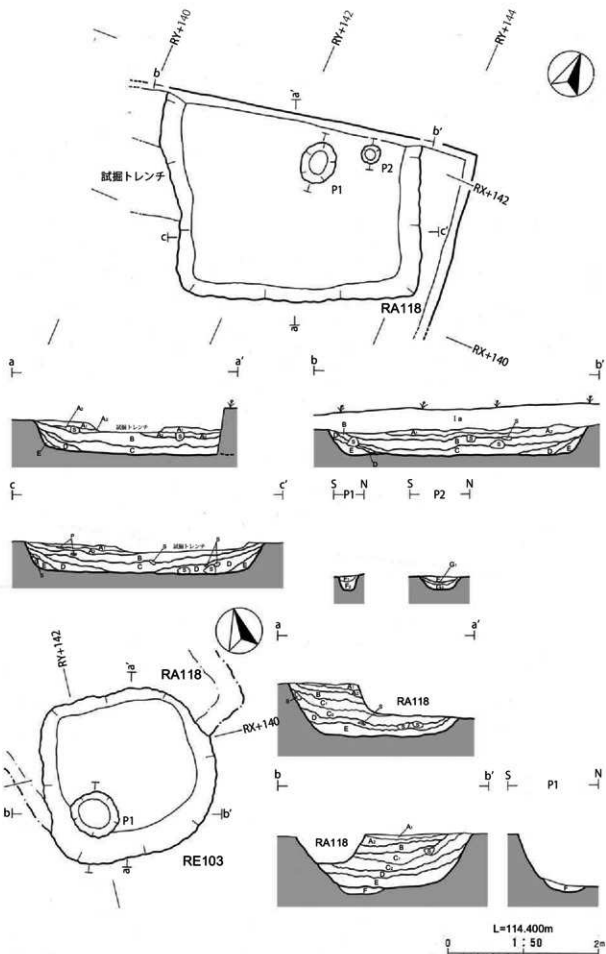
RA118 竪穴建物跡全景 (北西から)



RE103竪穴跡全景 (南から)



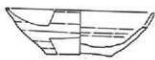
第3図 RA117竪穴建物跡



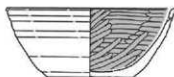
第4図 RA118竪穴建物跡・RE103竪穴跡



1 (RA117-C8-U8-B層)



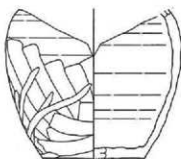
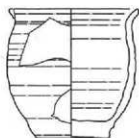
2 (RA117-C8-V8-B層)



3 (RA117-C8-U8-A層)



6 (RA117-C8-W8-A層)



5 (RA117-C8-V8-床面)



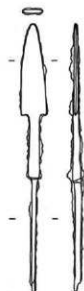
4 (RA117-C8-V8-J1層)



7 (RA117-C8-U7-A層)



8 (RA117-C8-U8-A層)



9 (RA117-C8-V7-A層)



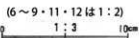
10 (RA117-C8-W6-A層)



11 (遺物包含層-C8-U6-IIa層)



12 (遺物包含層-C8-W6-IIa層上面)



第6図 第19次調査 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん へいせい26ねんど かんぼう							
書名	盛岡市遺跡の学び館 平成26年度 館報							
編集者名	北田 敦子・菊地 幸裕・室野 秀文・津嶋 知弘・神原 雄一郎・花井 正香・鈴木 俊輝							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2016年3月25日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
盛岡城跡 (第34次)	岩手県盛岡市内丸57-1地内	03201	LE16-0355	39° 43' 39"	141° 09' 00"	20141001 ～1222	244	石垣解体修復に伴う事前調査
細谷地遺跡 (第34次)	岩手県盛岡市向中野 野子細谷地7-2外		LE26-0214	39° 40' 29"	141° 08' 30"	20140507 ～1225	8,094	土地区画整理事業
岩洞湖G遺跡 (第1次)	岩手県盛岡市玉山区 敷川字亀橋43		KF61-1002	39° 49' 48"	141° 20' 50"	20141118 ～1119	28	市道改良工事
盛岡城遠曲輪跡 (第15次)	岩手県盛岡市神明町1-1		LE06-2389	39° 42' 14"	141° 09' 08"	20140717 ～0830	580	共同住宅建業及び駐車場造成
赤巻遺跡 (第3次)	岩手県盛岡市西青山 一丁目21,16-2		LE05-0397	39° 43' 20"	141° 06' 26"	20141104 ～1225	578	個人住宅建業
宿田南遺跡 (第11次)	岩手県盛岡市北夕顔 瀬川26-21		LE06-2135	39° 42' 41"	141° 07' 40"	20140416 ～0528	124	個人住宅建業
町田遺跡 (第19次)	岩手県盛岡市乙部30 地割51-1		LE47-1385	39° 36' 25"	141° 11' 53"	20130409 ～0424	66	個人住宅建業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第34次)	城館跡	近世	三ノ丸北西石垣累石・盛土層・根石、北西下斜面石垣、南東石垣累石・盛土層・根石		軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦		三ノ丸北西下斜面部で新たに石垣を確認	
細谷地遺跡 (第34次)	集落跡	縄文 奈良・平安	陥し穴状土坑7基 竪穴建物跡10棟		土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ11箱			
岩洞湖G遺跡 (第1次)	散布地	縄文 平安	竪穴建物跡1棟 竪穴建物跡1棟		縄文土器片			
盛岡城遠曲輪跡 (第15次)	城館跡	平安 近世	竪穴建物跡1棟、土坑3基 土塁・堀跡1条、暗渠排水溝1条、排水溝1条		土師器・須恵器 16～19世紀の陶磁器類 コンテナ3箱		16世紀末を構築時期の上限とする盛岡城遠曲輪の土塁・堀跡を検出	
赤巻遺跡 (第3次)	散布地	縄文 平安	陥し穴状土坑2基 掘立柱建物跡2棟、土取穴状土坑1基、土器焼成遺構1基		縄文土器片 平安時代後期の土器 コンテナ4箱		県内初例となる11世紀の土器焼成遺構を確認	
宿田南遺跡 (第11次)	集落跡	奈良・平安 室町～戦国	竪穴建物跡2棟、掘立柱建物跡1棟、通路跡2箇所		土師器片 鋳銭1点、鉄製品1点		中世城館・屋敷跡に類例の多い形態の竪穴建物跡を検出	
町田遺跡 (第19次)	散布地	平安	竪穴建物跡2棟、竪穴跡1基		土師器・須恵器・あかやき土器、鉄鏝・刀子、土鏝・土玉 コンテナ2箱			



盛岡市 遺跡の学び館

盛岡市遺跡の学び館 平成26年度 館報

平成28年3月25日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
e-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html>

印刷 株式会社 阿部印刷
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町2-2
電話 019-624-2242 FAX 019-624-0177
